



消防団の日頃の活動を知ってもらう きたやまミーティング

5月26日、北山小学校校庭で開催された「諏訪地区消防ポンプ操法大会出場チーム選考会と機関講習会」に併せて、地域住民に消防団の日頃の取り組みを知ってもらう初のイベント「きたやまミーティング～北山を愛し北山に誇りを持つ子どもたちの育成を目指して～」が開催されました。

水消火器やラッパ吹奏、AED操作などの体験ブース、クレープやたこ焼きなどのキッチンカーが設けられ、子どもからお年寄りまで大勢の人で賑わいました。



日頃の練習の成果を発揮 消防ポンプ操法選考会・機関講習会

5月26日、北山小学校校庭で、「諏訪地区消防ポンプ操法大会出場チーム選考会と機関講習会」が開催されました。昨年度から、茅野市消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会は行わず、諏訪地区大会へ出場を希望する分団（部）による選考会を実施しています。

選考会には、9チーム（ポンプ車2、小型ポンプ7）が出場。審査の結果、ポンプ車は北山分団、小型ポンプは中大塩分団が諏訪地区大会へ進むことになりました。

選考会後の機関講習会では、基本的な消火活動を的確・安全に実施するための知識や技術を学びました。



災害発生時を想定し訓練に取り組む 茅野市水防・土砂災害訓練

6月2日、湖東小学校で、「茅野市水防・土砂災害訓練」が開催されました。湖東地区住民や市民ネットワーク防災ちの、市、市消防団、茅野消防署などから約250人が参加しました。

参加者は、水防工法講習会、避難所設営訓練、多機能消防車と災害支援車の見学に取り組みました。水防工法講習会では、土のう作製や土のう工法を実践。避難所設営訓練では、テントの張り方や簡易トイレの使い方を学びました。



小泉山オープンを盛大に祝う 第23回 小泉山体験の森 山開き

5月25日、小泉山体験の森創造委員会が主催する「第23回 小泉山体験の森 山開き」が小泉山山頂で開催され、子どもからお年寄りまで約200人が参加しました。

東部中学校吹奏楽部によるオープニングファンファーレに合わせて、バズーカ型のクラッカーが放たれ、山開きがスタート。市民団体によるオカリナの演奏や玉川小児童による太鼓の演奏、豊平小児童による歌の発表、昔話の語り、ボーイスカウトの企画などが行われました。最後は全員で「ふるさと」を合唱し、山開きを祝いました。



浄水器・発電機等の防災設備を搭載 災害支援車の寄付

6月27日、株式会社ミヤサカ工業と株式会社菱興電機から「災害支援車」が寄付されました。当日は、ミヤサカ工業の宮坂会長と松本社長が代表して市役所を訪れました。

寄付されたのは、ミヤサカ工業が開発した災害時の被災者支援に役立つ浄水器や発電機等を搭載したコンテナ一式が2台。加えて、ミヤサカ工業からは、コンテナを乗せるための軽トラックが寄付されました。

寄付された車両は災害時などに大いに役立てられます。



新規就農へのチャレンジをサポートする組織が発足 信州ちの就農LABO

6月19日、「信州ちの就農LABO」のメンバーが市役所を訪れ、今井市長に組織の発足を報告しました。

信州ちの就農LABOは、農業の魅力を発信し、農業に対するネガティブなイメージを変え、市等関係機関と連携し、新規就農にチャレンジする人のサポートなどを行う組織です。茅野市内の20代～40代の若手農業者7名で構成されています。

今後、新規就農セミナーや就農相談会への参加、ほ場・生活見学会、農業体験などの事業を展開していきます。



環境に対する関心を深めてもらうために 環境絵本「やつがたけのちっち」手渡し会

6月4日、宮川第二保育園で『環境絵本「やつがたけのちっち」手渡し会』が開催されました。美サイクル茅野環境絵本部会の部員が保育園を訪れ、大型絵本の読み聞かせと手渡しによる絵本のプレゼントを行いました。手渡し会は、市内の私立・公立19園で同様に実施されました。

環境絵本は、幼児期から環境に対する関心を深めてほしいとの願いを込めて、美サイクル茅野環境絵本部会が作製し、平成14年から市内在住のすべての年長児にプレゼントされています。



泉野分団第1部へ新たな消防車両を配備 小型動力ポンプ付多機能積載車 配備式

5月28日、茅野消防署で「小型動力ポンプ付多機能積載車配備式」が開催され、泉野分団第1部に新たな消防車両が配備されました。

茅野市では、茅野市消防団総合計画に基づき、市内10地区に多機能積載車を配備する予定で、今回の配備は、中大塩分団に続いて2台目となります。配備された新たな車両は、小型動力ポンプをはじめ、チェーンソーやエンジンカッターなど多様な資機材が搭載されており、さまざまな災害に幅広く対応することができます。